

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成26年9月8日

施設名	森林研修センター情報交流館	所管課	林業振興・環境部 林業環境政策課
-----	---------------	-----	------------------

1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町大平80番地		
事業内容	(1) 情報交流館の施設の利用の許可等に関する業務 (2) 利用料金の徴収に関する業務 (3) 情報交流館の施設及び設備の維持管理に関する業務 (4) 情報交流館の利用促進に関する業務 (5) 前各号に掲げるもののほか、情報交流館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 情報交流館：木造、平屋建、延床面積609.35㎡ 開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：①月曜日（その日が国民の休日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その日後の直近の休日以外の日）、②休日の翌日（その日が日曜日又は休日に当たるときを除く。）、③12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金：1時間につき、研修室・木工室・企画展示室300円（370円）、シアター630円（780円）、（ ）は休館日		
職員体制	常勤職員： 3人	非常勤職員： 人	合計： 3人

2 収支の状況

単位：千円

		平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(予算)
収入	県支出金	14,500	14,500	14,915
	利用料収入	116	93	155
	参加料収入	2,521	1,720	1,727
	その他	79	50	-
	収入計 (a)	17,216	16,363	16,797
支出	事業費	2,405	1,402	1,769
	管理運営費	3,412	3,859	3,790
	人件費	10,499	10,646	11,238
	支出計 (b)	16,316	15,907	16,797
収支差額 (a)-(b)		900	456	-

3 利用状況

	平成24年度(実績)	平成25年度(実績)	平成26年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	10,856	11,353	11,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況 ・イベント時にアンケートを取り、運営に役立てている。 ・一般の利用者に関しては、意見箱の設置と来館者の方とのコミュニケーションを積極的にとる事により、生の声を聞くことを心がけている。		
	○ その他 ・アンケートから得たニーズに対し、改善を加えマンネリ化しないよう努力している。 ・森林や植物等に関する質問や地域に関する問い合わせなどに対し、関係機関を紹介したり資料やパンフレットをお渡しするなど、森やみどりの情報発信基地としてきめ細かな対応を心がけている。 ・団体や学校行事の利用に関しては、目的やねらいを明確に把握するため、打ち合わせを重ねご要望に応える努力をしている。		
③その他特記事項	ホームページやSNSを利用し広域に情報発信している。 特にフェイスブックなどのSNSを上手く利用することで、関心度の高いところにピンポイントで情報提供できるので有効に活用している。		

4 平成25年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	・職員3名による管理業務に加え、イベント時等はネットワーク会員、ボランティア、協力団体等と連携を取り、円滑に運営を行っている。 ・施設内もおおむね適正に管理され、経費節減にも努めている。
②利用者サービスの維持向上	・情報発信や利用者ニーズの把握にも努め、利用者へのサービス向上につながっている。 ・子どもに対して森林自然体験を重要視し、自主事業など取組みに努めている。 ・森林ボランティアリーダー養成講座の開催など協力団体との連携により事業展開を行っている。 ・テレビ、新聞、ラジオ、広報紙等に加え、ホームページやSNSなどインターネットを活用した情報発信に努めている。
③利用実績	入館者数は11,353人で、24年度比497人増、森林情報の収集と提供・情報発信事業実績は141回、学習機会の提供の実績は125回、ボランティア活動の支援は51回、情報交流館の利用促進事業の実績は121回と、全ての事業において目標以上の実績を達成した。
④収支の状況	おおむね予算通りに執行されており、業務の効率化、経費の節減にも努めている。
総合評価 (A~D4段階)	B ・限られた管理費でおおむね適正な管理が行われている。 ・情報発信や利用者ニーズの把握にも努め、利用者へのサービス向上につながっている。 ・専門研修を受けるなど職員の更なるスキルアップを図り、学校と連携し、体系的な森林環境学習プログラムを提案するなど積極的なアプローチが望まれる。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの